

新庁舎整備に係る経緯と今後について

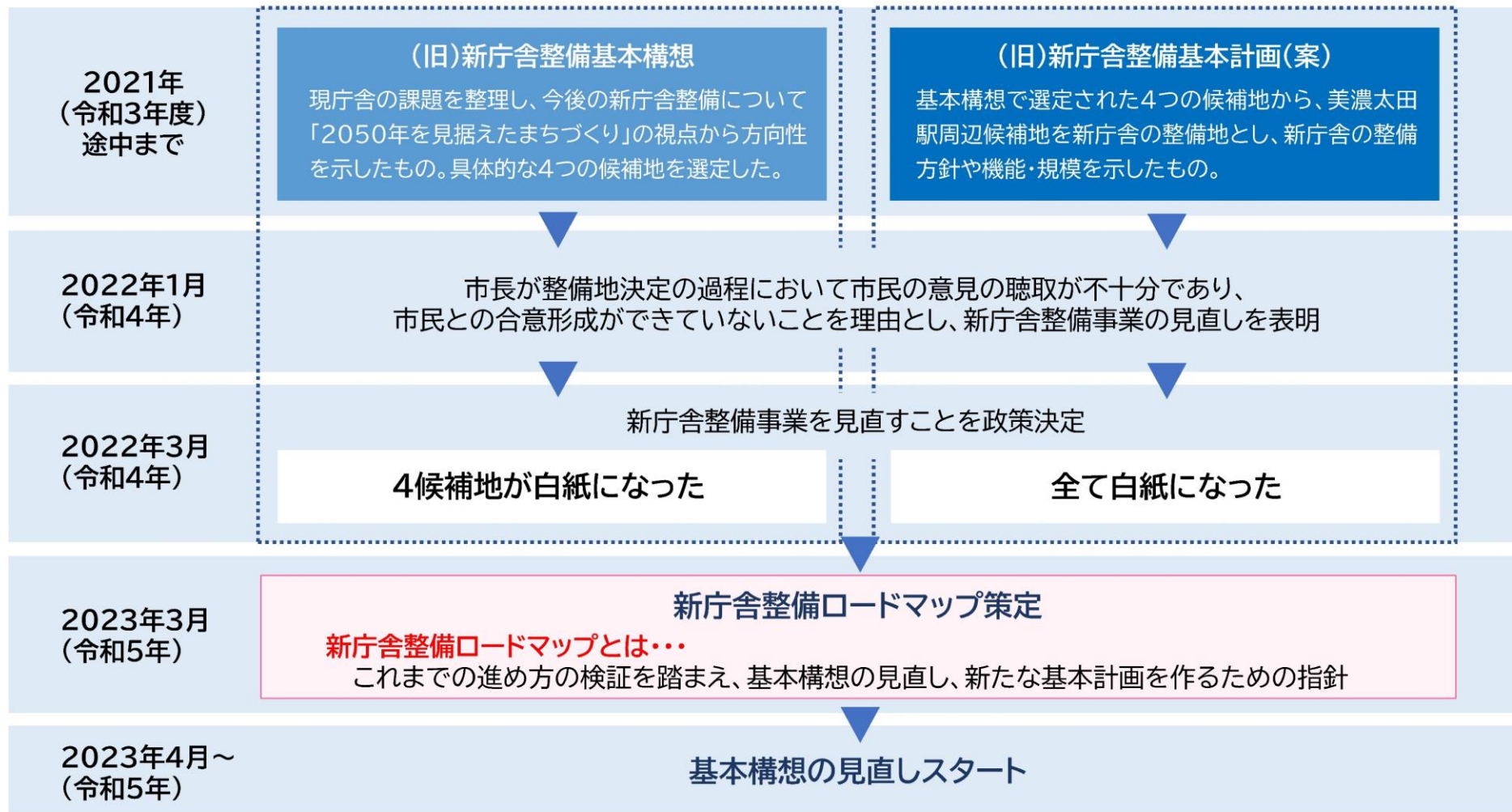
美濃加茂市 新庁舎整備ロードマップ

令和5年3月

見直しの経緯

第1章 新庁舎整備ロードマップとは

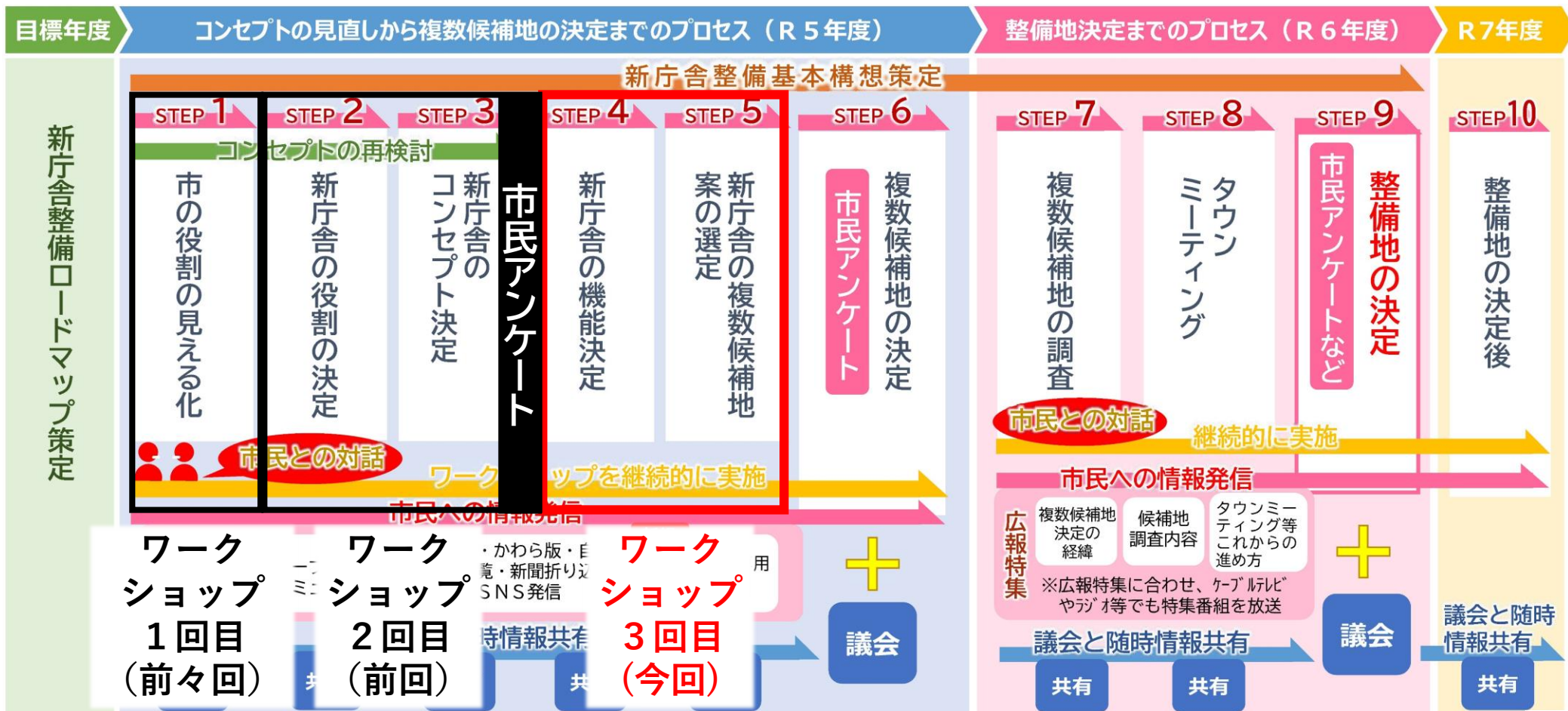
(2) 新庁舎整備ロードマップと(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画(案)との関係



ワークショップの実施計画

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(1)全体プロセス 市民アンケートの結果や新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会による検証などから、今後の新庁舎整備の進め方をまとめたものです。なお、年度については目標年度であり、進捗状況により変更することもあります。



第1回市民ワークショップ <STEP1>

■STEP1「市の役割の見える化」

「10年後の市の役割」をテーマに参加者のみなさんと一緒に意見を出し合いました。

①個人でフセンに意見を書き出す



②意見を出し合う



③シールで大事だと思うものに投票



④グループの意見を発表！



第1回市民ワークショップ				おでかけ ワークショップ
7/23(日)	7/26(水)	7/29(土)	計3回	計10回(9月20日時点)
30人	31人	27人	計88人	計170人

第2回市民ワークショップ〈STEP2,3〉

■第2回市民ワークショップ STEP2「新庁舎の役割」 STEP3「新庁舎のコンセプト」
「新庁舎の役割」「新庁舎のコンセプト」をテーマに参加者のみなさんと意見を出し合いました。

①個人で意見を書き出す



②意見を出し合う



③まとめ



④全体発表



■東中学校で中学3年生、加茂高校で高校2年生を対象に市や新庁舎に係るワークショップを行いました。

第2回市民ワークショップ				おでかけ ワークショップ	東中学校3年生 ワークショップ	加茂高校2年生 ワークショップ
9/24(日)	9/25 (月)	9/30(土)	計3回	計16回 (11月28日時点)	2回	1回
22人	23人	22人	計67人	計268人	281人	236人

今回のワークショップのテーマと目的①

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 4 新庁舎の機能決定

STEP 1～3による、市の役割、新庁舎の役割、コンセプトを踏まえ、新庁舎に必要な機能を検討します。

STEP 4で実施すること
市民との対話
(ワークショップ)

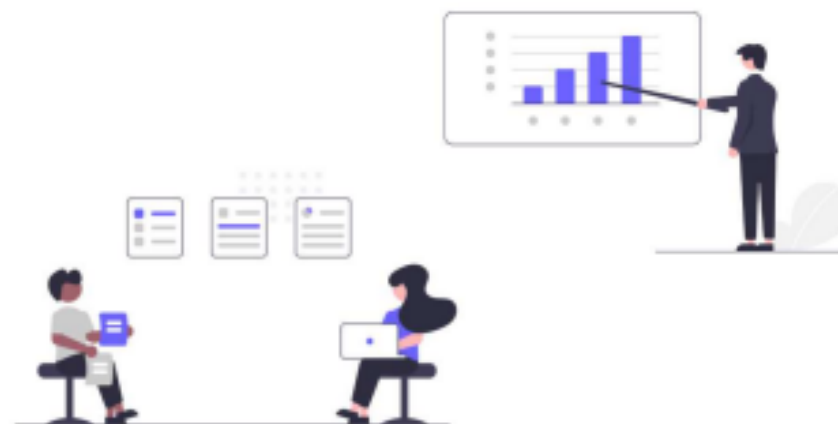
市民の
役割

ワークショップの中で社会情勢の変化やデジタル化の進展による新しい行政サービスを踏まえ新庁舎に必要な機能を検討する。

市職員
の役割

新庁舎の機能を検討する前に、前提条件の整理を行う。市民とともに新庁舎に必要な機能を検討し、機能を決定する。

R5年度					
STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6
市の役割の見える化	新庁舎の役割の決定	新庁舎のコンセプト決定	新庁舎の機能決定	新庁舎の複数候補地案の選定	複数候補地の決定



今回のワークショップのテーマと目的②

第2章 今後の新庁舎整備の進め方について

(4)各ステップについて

STEP 5 新庁舎の複数候補地案の選定

STEP 4 で決定した新庁舎の機能や、課題の実現性、市の方針を踏まえた上で、複数候補地案を検討・提示します。その上で市民との対話により候補地案を吟味し、必要であれば、市民は前提条件が踏まえられた別の候補地案を市に提言します。

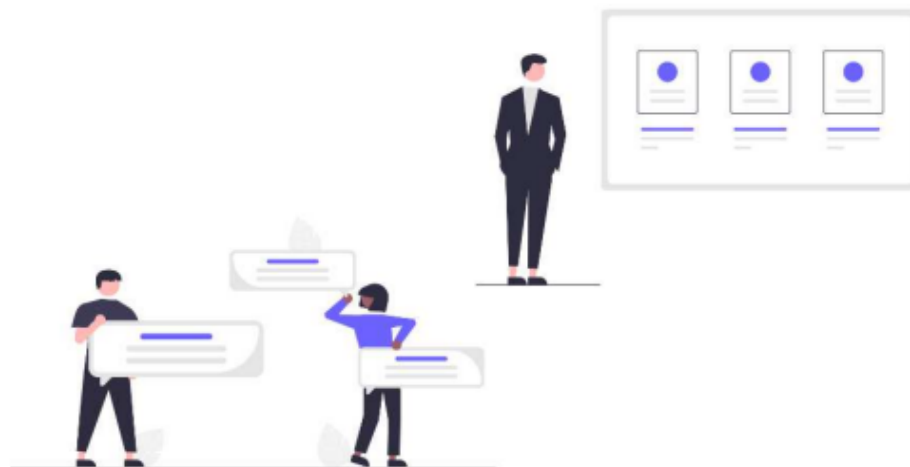
STEP 5 で実施すること
市民との対話
(ワークショップ)

市民の
役割

市が提案した新庁舎の候補地案を吟味する。前提条件が踏まえられた新たな候補地案がある場合は市に提言を行う。

市職員
の役割

前提条件を踏まえた候補地案について複数検討する。その後市民から新たな候補地案が提言された場合は、前提条件を満たしているかどうか検証し、候補地案に含めるか検討し、候補地案を選定する。



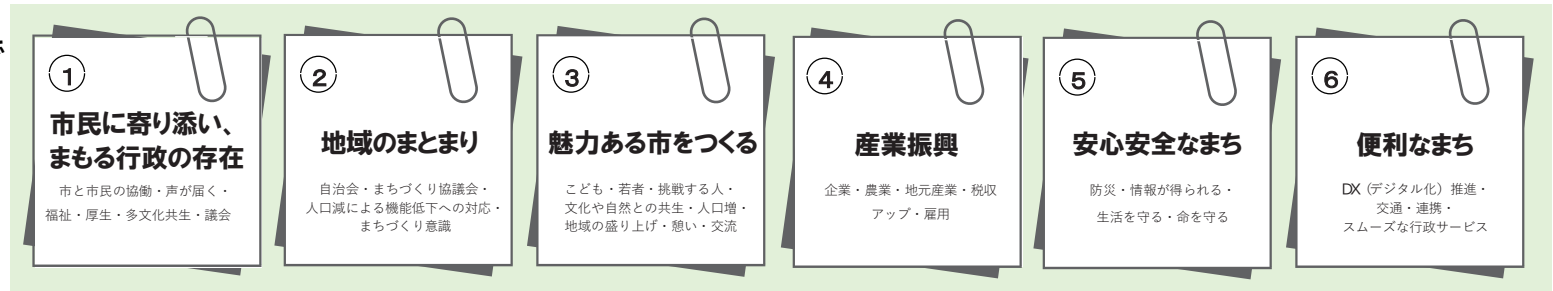
<第2回市民ワークショップの振り返り>
新庁舎の役割
新庁舎のコンセプト

第2回市民ワークショップまとめ

STEP2 「新庁舎の役割」 概要

- 第1回市民ワークショップでいただいた「市の役割」についてのご意見をベースに新庁舎に必要な役割を考えました。

第1回市民ワークショップで考えた「市の役割」⇒



STEP2 全体の傾向

- 「新庁舎の役割」について、窓口対応や相談機能の充実に関するご意見、市職員の職場環境の向上に関するご意見、災害時の拠点としての対応や情報提供に関するご意見、および連絡所の機能強化に関するご意見が多く出されました。
- 「機能を一か所に集中する⇔機能を分散する」、「まちのシンボルとする⇔建設費用を抑えた庁舎とする」、「交流の場とする⇔コンパクトに小さくする」等、相反する意見も出されました。

STEP2【代表的なご意見】(抜粋)

- 子どもや高齢者、外国籍の方、障がいのある方など、**どんな人でも受け入れられる**
- 色々な事情がある方の**プライバシーが守られて、安心して相談**することができる
- 新庁舎に行かなくても、申請等の**手続きがオンライン**でできる
- **市職員が働きやすく、生き生き**できる
- 用事が無くても、**誰もが集い交流**ができる
- **まちのシンボル**となる、市の中心的存在
- **柔軟に使える庁舎**で、時代や環境の変化に対応できる
- 日常・災害時のどちらでも**情報提供**ができる
- 必要最低限の行政機能を持ち、**コストがかからない**
- **災害時の拠点**として、緊急時の対応ができる

第2回市民ワークショップまとめ

STEP3 「新庁舎のコンセプト」 概要

- ・ 新庁舎の役割を果たすためのコンセプトを考えました。(下記抜粋)

STEP3 全体の傾向

- ・ すべての市民のサポートを円滑に行うことや、様々な人が共存するため、人々が交流することが求められていました。
- ・ 一方で庁舎は必要最低限の機能を持たせ、交流拠点は他の公共施設とする意見も出されました。

STEP3【代表的なご意見】(抜粋)

- いつでもだれでも相談できる**頼り**になる新庁舎
- 気軽に集いつながる新庁舎(行政サービス以外の利用を含む)
- 新しい時代に対応できる**未来**を見据えた新庁舎
- 市民の暮らしを守る**安心安全**な新庁舎
- 必要十分で**シンプル**なコンパクト新庁舎(交流拠点は他の公共施設へ)
- みんなが使いやすい**心と身体**のバリアフリー新庁舎
- 美濃加茂の**自然を活かした心地よい**新庁舎
- **地域の中心**となる、**シンボリック**な新庁舎
- **職員**が生き生きできる**働きやすい**新庁舎

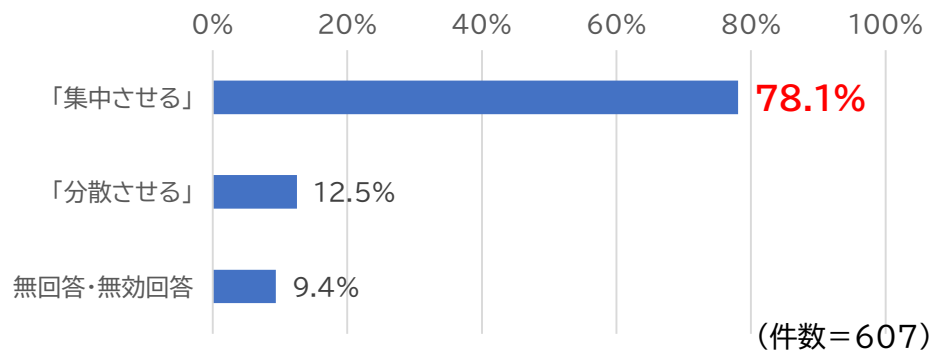
市民アンケート結果

■第2回の市民ワークショップ(STEP2・STEP3)をふまえ、新庁舎の役割等について、市民全体の傾向を把握するため、無作為抽出した市民1,500人を対象にアンケートを行いました。(回収数:607人)

STEP2 「新庁舎の役割」に対する市民アンケート結果

ワークショップで出された相反する役割について、どちらを重要と思うか選択いただきました。

●市役所機能を「集中させる」／「分散させる」

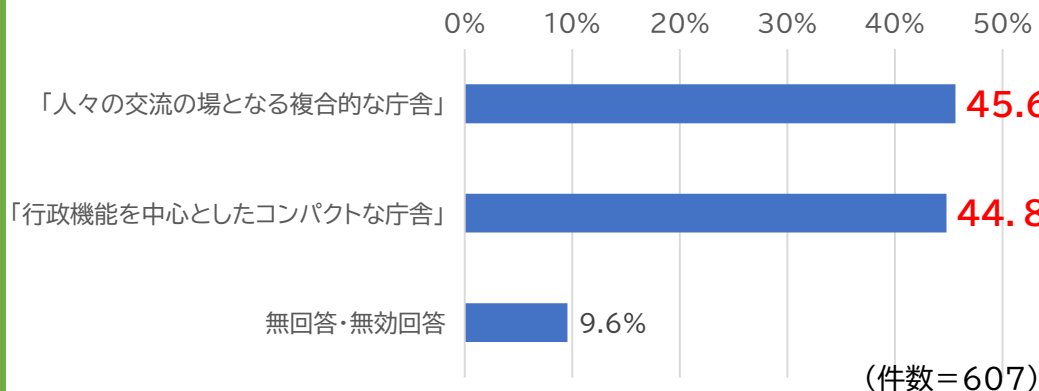


・**全年代・全地域において、市役所機能を「集中させる」が過半数を占めました。**

・「集中させる」を選んだ理由は「1か所で市役所の用事を済ませられるとよい」が1位となっています。

・「分散させる」を選んだ理由は「民間施設などの機能と市の機能が一緒にあるとよい」と「市役所の建物規模を抑えられる(既存の施設を利用し建設費を抑える)とよい」が1位となっています。

●「人々の交流の場となる複合的な庁舎」／「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」



・「複合的な庁舎」と「コンパクトな庁舎」はおおよそ半数ずつに意見が分かれました。

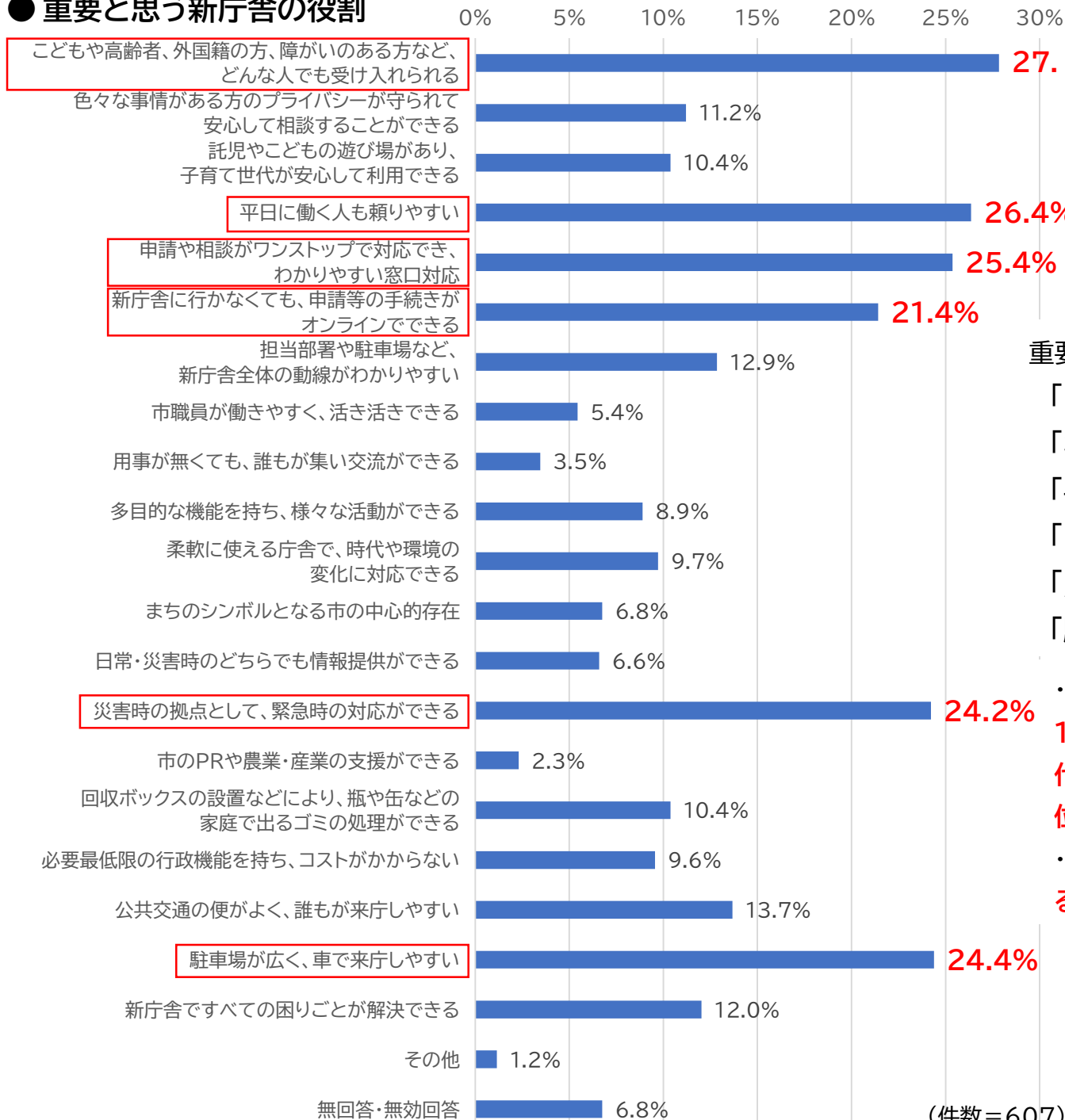
・**20代以下では「複合的な庁舎」が過半数を占め、30代以上は20代以下と比べると、「行政機能を中心としたコンパクトな庁舎」の割合が大きくなりました。**

・「複合的な庁舎」を選んだ理由は「カフェ、図書館などを入れ、立ち寄りやすい庁舎」が1位となっています。

・「コンパクトな庁舎」を選んだ理由は「建設費用を抑えた必要最低限な庁舎がよい」が1位となっています。

ワークショップで考えた新庁舎の役割について、重要と思う項目を選択いただきました。

● 重要と思う新庁舎の役割



重要と思う新庁舎の役割として下記が多く選ばれました。

「どんな人でも受け入れられる」

「わかりやすい窓口対応」

「平日に働く人も頼りやすい」

「申請等の手続きがオンラインでできる」

「災害時の拠点」

「駐車場が広く、車で来庁しやすい」

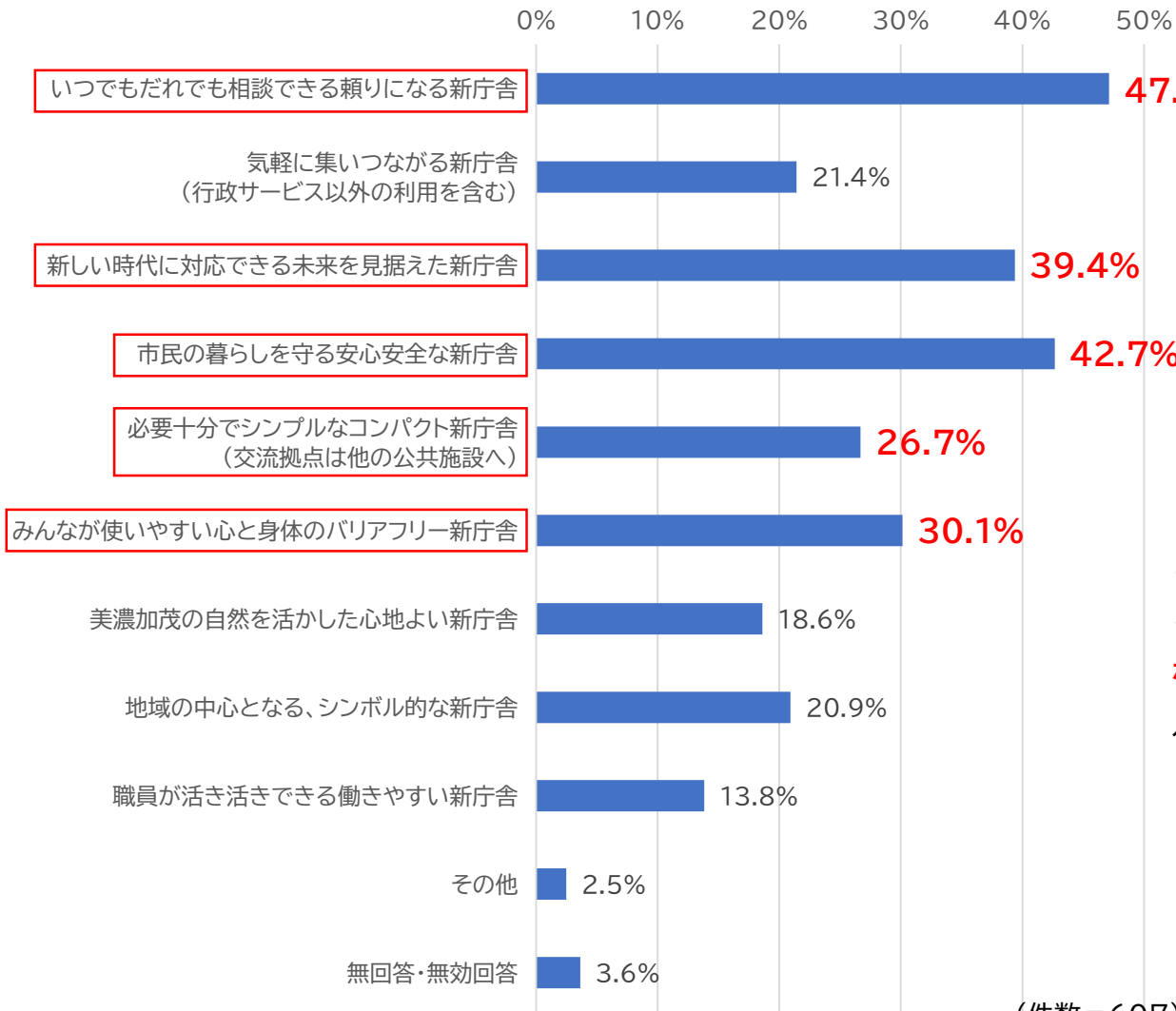
・全体で最も高い「どんな人でも受け入れられる」は10代・80代以上で1位となっており、20代～50代の働く世代では「平日に働く人も頼りやすい」が1位となっています。

・30代以下では「子育て世代が安心して利用できる」が3位と全体よりも高い順位となっています。

市民アンケート結果

STEP3 「新庁舎のコンセプト」に対する市民アンケート結果

ワークショップで考えた新庁舎のコンセプトについて、重要と思う項目を選択いただきました。



重要と思う新庁舎のコンセプトとして下記が多く選ばれました。

- 「いつでもだれでも相談できる頼りになる新庁舎」
- 「市民の暮らしを守る安心安全な新庁舎」
- 「新しい時代に対応できる未来を見据えた新庁舎」
- 「みんなが使いやすい心と身体のバリアフリー新庁舎」
- 「必要十分でシンプルなコンパクト新庁舎」

- ・10代では「気軽に集いつながる新庁舎」が2位となっています。
- ・20代以下と70代以上では、「地域の中心となる、シンボリックな新庁舎」が5位以内となっており、30代～50代よりもシンボリックな新庁舎を重要と思う人の割合が高くなっています。

(件数=607)